

公開シンポジウム

京都大学医学研究科
からの発信



人生100年時代なぜ今、

漢字の手書きが

重要なのか？

基礎学力の形成から認知症予防まで

2022
日時：12/18日
14:00-16:30 **参加無料**

現地とweb配信によるハイブリッド開催

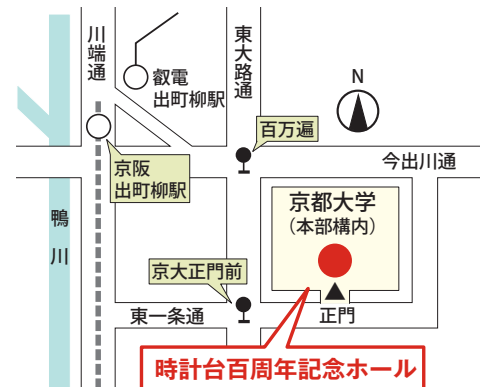
- ・現地参加ご希望の方は下記会場へ直接お越しください(事前のお申込みは不要)。
- ・WEB参加ご希望の方は
<https://e-webseminar.jp/kkp>または右記QRコードよりお申込みください。
- ・お問合せはe-ils@sunpla-mcv.comへお願いいたします。



会場：京都大学(時計台百周年記念ホール)

Program

14:00-14:05	はじめに	司会/木下 彩栄 (京都大学医学研究科人間健康科学 教授)
14:05-14:10	開会の挨拶	高橋 良輔 (京都大学医学研究科臨床神経学 教授)
14:10-14:45	「デジタル時代における国語科の手書きをどう考えるか—漢字習得の観点から—」	棚橋 尚子 (奈良教育大学国語教育講座 国語科教育 教授)
14:45-15:20	「これからの時代に漢字を手書きで学ぶ意義—認知機能の生涯発達の観点から—」	大塚 貞男 (京都大学医学部附属病院精神科神経科 特定助教)
15:20-15:55	『超高齢化』と『デジタル化』の共存社会において漢字の手書きを再考する—認知症予防の観点から—」	葛谷 聡 (京都大学医学研究科臨床神経学 准教授)
16:00-16:25	総合討論	
16:25-16:30	閉会の挨拶	村井 俊哉 (京都大学医学研究科精神医学 教授)



共催：京都大学大学院医学研究科(臨床神経学・精神医学)、公益財団法人 日本漢字能力検定協会